令和8年度山形大学模擬講義一覧（G.教育・教育支援）

講義番号	開講方法		学問分野	講義テーマ	講義概要	教員氏名・職名	学部・学科・コース名	形式	受講人数	講義時間（目安）	対象			消耗品費の要否	消耗品費の額（目安）	備　考
	オンライン	対面									小学	中学	高校			
G8-1		○	教育・教育支援	生活防災と避難所生活	自然災害発生時のライフライン停止した状況を想定して、避難所生活簡易ワークショップを行います。高齢者や幼児を連れた人、食物アレルギーなどの多様な人々になりきって体験し、被災時のために備えるべきことを考えます。	石垣　和恵　　教授	教育学部 児童教育コース	講義・演習	30名程度	90分程度			○	要	1袋（４００円）と試食用の紙コッ	①実施校にてプロジェクターとスクリーンをご準備願います。 ②段ボールベッド（受講人数に応じて台数変動あり）搬入・撤収にご協力をお願いいたします。
G8-2	○	○	教育・教育支援	自立した書き手となるために―ライティング・ワークショップをやってみよう―	主体的に書く活動を核とする学習方法として米国で取り組まれているライティング・ワークショップを体験します。自立した書き手となることの楽しさや意義を実感してもらうことで、「書くこと」に対する児童・生徒の意欲を高めます。	菊田　尚人　　准教授	教育学部 児童教育コース	講義・演習	ご相談に応じます	ご相談に応じます	○	○	○	否	―	リーディング・ワークショップ(自立した読み手を育成する主体的な読書活動)に変更することも可能です。講義時間にはよりますが、両方のワークショップをご希望いただくことも可能です。
G8-3		○	教育・教育支援	『論語』に学ぶ「志望」の定め方	『論語』の言葉を足がかりにして自身の志望を見定める方法を学ぶ講義です。	三上　英司　　教授	教育学部	講義	特に定めません	90分			○	否	―	
G8-4		○	教育・教育支援	「正直」に生きるということ	漢字の成り立ちや漢文の言葉を足がかりにして、真っ直ぐに生きる、ということについて考えてもらう講義です。	三上　英司　　教授	教育学部	講義	特に定めません	90分	○	○	○	否	―	
G8-5		○	教育・教育支援	健康に生きる力について考える	「心身の健康に関する知識・技能」「自尊感情」「自ら意思決定、行動選択する力」「他者と関わる力」は健康な生活を送るために必要な力です。これらの力がどのように育つのか一緒に考えてみましょう。	新井　猛浩　　教授	教育学部 文化創生コース	講義	ご相談に応じます	ご相談に応じます		○	○	否	―	プロジェクターとスクリーンをご準備願います。
G8-6	○	○	教育・教育支援	子ども・若者の＜居場所＞をめぐる社会史　－「たまり場」から「居場所」へ－	戦後の青少年教育では、そのキーワードが1990年代を境に「たまり場」から「居場所」へと転換していく。その背景を理解しつつ、学校外教育の現状、学校と地域との連携・協働を（第３の生活領域）をキーワードとして考える。	安藤　耕己　　教授	教育学部	講義	相談に応じます	60分～90分（ご要望に応じます）			○	否	―	実施校にて、プロジェクターをご準備願います。
G8-7	○	○	教育・教育支援	地域で支える不登校－学校だけで抱えない－	毎年、最高数を更新し続ける不登校児童・生徒数。その現状と「学校だけで抱えない」対応について考える。	安藤　耕己　　教授	教育学部	講義	相談に応じます	60分～90分（ご要望に応じます）			○	否	―	実施校にて、プロジェクターをご準備願います。
G8-8	○	○	教育・教育支援	理科における体験活動	理科では自然体験などの体験活動を取り入れて授業をすることがあります。体験したことは、知識・技能とどのように結びつき、資質能力の獲得へいかにつながるのでしょうか。またそこにはどのような意義と課題があるのでしょうか。本講義では、このような問いから、理科における体験活動のあり方について考えます。	後藤　みな　　准教授	教育学部 児童教育コース	講義・実験	ご相談に応じます	30～60分	○	○	○	否	―	
G8-9	○	○	教育・教育支援	理科の見方や考え方	学校で学ぶ理科とはどのようなもので、何を学ぶことができるのか、ヒトの自然認識を具体的例として取り上げながら解説します。	鈴木　宏昭　　准教授	大学院教育実践研究科	講義	10-40名程度	60分程度	○	○	○	必要に応じて実費	要相談	理科、理科教育に関することであれば、講義内容（詳細）についてご相談ください。

令和8年度山形大学模擬講義一覧（G.教育・教育支援）

講義番号	開講方法		学問分野	講義テーマ	講義概要	教員氏名・職名	学部・学科・コース名	形式	受講人数	講義時間（目安）	対象			消耗品費の要否	消耗品費の額（目安）	備　考
	オンライン	対面									小学	中学	高校			
G8-10	○		教育・教育支援	AIは人より賢いのか？：“賢さ”を分解して、生成AIと上手に付き合う	2022年11月にChatGPTが公開され、当初は学校や大学で「禁止」も話題になりましたが、現在は「使うこと」を前提に、学びを深める使い方・ルール作りへと議論が移っています（例：NYC公立校は一度ブロック後、方針を転換）。 本講義では「AIは賢い／賢くない」という二択ではなく、“何に対して・どんな条件で賢いと言えるのか”を整理します。生成AIは文章作成や要約、発想支援などで高いカを示す一方、もっともらしい誤り（ハルシネーション）や根拠の弱い断定も起こり得ます。また近年は、音声・画像・テキストをまとめて扱うモデルも登場し、便利さとリスクが同時に拡大しています。 高校生が今日から実践できるように、①AIの得意・不得意の見抜き方、②出典確認とファクトチェックの基本、③学習における“ズル”ではなく“思考を伸ばす補助”としての使い方、④個人情報・著作権・ルール（学校・社会）の要点を、具体例とミニ演習で扱います。国際的にも教育・研究向けの指針が整備されつつあります。	加納　寛子　　准教授	学士課程基盤教育院	講義・演習	特に定めなし	50分 （希望に応じて調整可）	○	○	○	否	ー	受講生が，手元にインターネットにつながったタブレットかPCがあれば，インタラクティブに実施します．
G8-11	○		教育・教育支援	サイバーサイコロジー：SNSと生成AI時代の「信じる」「拡散する」「攻撃する」心理	インターネットでは、多くの人が「怪しい情報にはだまされない」と思っていても、実際には見た目のそれらしさや発信元っぽさ（ドメイン名・名称・認証マーク等）に影響され、真偽の判断を誤ることがあります。Wogalter & Mayhorn らの研究でも、参加者は平均するとネット情報を全面的に信用しているわけではない一方で、実在しない（架空の）組織名やサイト名にも相当程度の信頼を置いてしまうことが示されました。 さらに近年は、SNSのレコメンド機能によって「似た意見」「感情を動かす投稿」に接触しやすくなり、同じ主張を繰り返し見た結果、誤情報でも“正しそう”に感じて拡散してしまうことが起こります（反復による真実味＝illusory truth など）。 また、ネット上では匿名性・非対面性・時間差などにより、現実よりも言動が過激になったり、別人格のように振る舞ったりする現象（オンライン脱抑制）も知られています。本講義では、こうした「ネット上の人の心理と行動」を、①情報を信じる／疑う判断のクセ、②拡散が起きる仕組み、③ネットいじめ・炎上・同調圧力の心理、④生成AI・深層偽造がもたらす新しい“それらしさ”のリスク、⑤今日からできる対策（出典確認・反証探し・一呼吸おく等）という観点から、具体例とミニ演習で解説します。	加納　寛子　　准教授	学士課程基盤教育院	講義・演習	特に定めなし	50分 （希望に応じて調整可）	○	○	○	否	ー	受講生が，手元にインターネットにつながったタブレットかPCがあれば，インタラクティブに実施します．
G8-12	○	○	教育・教育支援	自分らしさを大切にしながら、将来のキャリアについて考えよう	皆さんが今後、進学したい学校や就きたい職業を考えるときに、自分がどんなことに興味や関心があるのか、自分のことをよく知ることが大切です。講義では、自分のことを知る手がかりのひとつとして、自分の長所について理解を深めていきます。	山本　美奈子　　准教授	学士課程基盤教育院	講義・演習	50名	60分		○	○	否	ー	ペア・グループワークを講義に盛り込むことが可能ですので、ご相談ください。
G8-13	○	○	教育・教育支援	大学とは何か	「大学」について歴史的な学びを手掛かりとして、改めて「大学」とは何か「大学で学ぶ」とはどういうことかについて自分なりの考えを持てるようになる講義です。	橋爪　孝夫　　准教授	学士課程基盤教育院	講義	50－100人	90分		○	○	否	ー	